

# 白梅

公益財団法人

栃木県ひとり親家庭福祉連合会

宇都宮市野沢町4-1

☎ 028(665)7806

発行人 栗橋幸子

印刷所 高橋平版社

## 平成29年度 ひとり親家庭福祉研修大会

佐野日本大学短期大学  
教授 山田昇先生により  
「育てよう「自立」、なく  
そう「孤立」朝の来ない  
夜はない。」と題してご自

### ■基調講演

七月二日(日)～三日  
(月)の二日間、鬼怒川観  
光ホテルに於いて「栃木  
県ひとり親家庭福祉研修  
大会」が百十余名の参加  
のもと開催されました。

那須塩原市  
高橋 美代子



身の生い立ちを交えながら、自  
然な生き方を話されました。

自立とは、自分で立つこと。  
積極的に制度を活用して地域の  
母子福祉会を知ろう。そこで多  
くの人達との出会いがあり情報  
が得られる。そして資格を取っ  
て就労できることで生活の安定  
が図れる。

孤立とは、寂しく精神面の苦  
痛があるので相談できる友達を  
作ろう。それが心の安定につな  
がる。そして諦めないこと。制  
度を積極的に活用し精神的自立  
を図る。親子の時間は必要でと  
ても大切である。朝の来ない夜  
はないのだから仲間との絆を深  
めて一度しかない人生を輝いて  
生きてください。でも健康が一  
番なので皆さん体に気を付けて  
歩んで行ってください。と背中  
を押して頂いて結ばれました。

### ■分科会

今年度の分科会は三分科会で  
話し合いました。

一、目指そう！自立、活かそう  
支援策

一、母子と寡婦 明日へつなぐ  
世代の輪

一、育てよう「自立」、なくそう  
「孤立」

・介護研修で会員が増えた。  
・さくら市自立支援員さんから  
母子会を立ち上げたいとの朗  
報があった。  
・学習支援で成績が良くなった。

・子ども食堂で子どもの居場所  
作りができた。

・心のリフレッシュのため親子  
で食事会に参加する。

・キー作りで入会者があった。  
・会員には末端まで情報の提供  
が必要である。

・自立支援員さんや民生委員さ  
んとの連携で精神的自立が  
図られる。

・ネットを活用し情報を得る。  
・友達の声かけや親子ふれあい  
会で加入者があった。

・母子家庭は増加しているが入  
会者がいない。

・お金のかからない行事には参  
加するがお金がかかる時は参  
加しない。

### ■アンケート

・泊りでの研修を希望する意見  
が多かった。

・若年層は日曜日の一日研修な  
ら参加できる。検討が必要と  
思う。





若い市長が誕生し若者が矢板に帰って来る政策を打ち出していますが、中々思う様には行きませんね。母子会の会員も皆七十代で若い人が入ってくれません。「こどものひろばコマチ」のお茶当番を月一、二回行っています。苔玉作りも盛況でした。私が土や苔、草花を用意し、皆真剣な顔をして一生懸命作品を作りました。親の勤めの都合で、子供の面倒をみられない時など、一日中お子さんを預かる事もあります。障子の張り替え作業や、老人給食の配達、老人ホームの窓ガラス拭きや草むしりもしました。十一月三日の福祉祭では、家にある不用品や、手作りの梅干し、野菜、菊の花等安く売りました。

## 矢板市

金田 トシイ

## 足利市

多田 孝

足利市では、母子寡婦共に会員数は多いのですが、中々末端まで届かないのが現実だと思っています。新規会員は多少ではありますが、加入促進に繋がっていると思います。子育てが終わると様々な事業に参加しなくなり、こうした事も皆さんと考えて行かなくてはと思っています。足利市の広報にも載せて参加を呼びかけ、多くの人に参加してもらい加入促進に繋がっています。他の地区も同じだと思っていますが、その後に繋げるのが難しく悩みます。

昨年十二月に、若年と寡婦と手作りのクリスマスを開催しました。料理も手作りで皆さんにも好評でした。

これからも、寡婦と若年共に各町内の声を聞きながら、会員皆さんと一歩づつでも前に進んで行きたいと考えております。



## 益子町

小葉 静子

益子町母子寡婦福祉会では、毎年十一月の第二土曜日に開催される「福祉まつり」に参加しています。焼きそばをパックに入れて販売します。前日にイカ

## 佐野市

萩原 純子

毎年十二月、お楽しみ会のクリスマス会。今回も、クリスマスケーキ作りと会の皆さんとの昼食を楽しませていただきました。



の下足とキャベツを切り、当日は朝八時半集合で、鉄板二台で焼き始めます。十二名位の人に協力してもらい完売しました。反省会の時に、もう少し量が多くしてはどうかという意見が出ましたが、キャベツの値段が二倍もしていたし、当日の天候によつては人出も心配しなければならぬので、分量を決めるのは頭が痛いのです。材料費を支払った残金は、町社会福祉協議会へ寄附をしています。これまでも何年も続けている行事なので、これからも参加できればいいと思っています。



小学四年生の娘は、クリスマス会が近づくと「今年はチョコレートのをせたい」「イチゴでサンタをつくりたい！」など、どんなふうにケーキをデコレーションしようかと楽しみにしています。

思い起こせば、初めて参加させていただいた時には、緊張と戸惑いからか、私がケーキをデコレーションする様子を見ているだけの娘でした。私自身も、慣れない場ということで緊張していたことを思い出します。そんな中、母子会の役員の皆様の温かい言葉がけとサポートのおかげで楽しく過ごさせていたただくことができました。今では、娘自ら進んでケーキをデコレーションしていくほどになりました。娘がパティシエ、私は助手です。頼もしくなったものです。

ひとり親家庭という、同じ境遇で頑張っている皆様と交流を持てるということは、心強く励みにもなります。これからも、会員みんなの支えになる会としてお役に立てればと思っています。

母子・寡婦に共通するテーマ

「母子と寡婦 明日へつなぐ世代の輪」

# 第23回 栃木県民福祉のつどい



## 知事表彰を受けて

那須塩原市 織田 敏枝

振り返ってみますと、二十六年前に母子会に入会しました。当時、長男は小学三年、長女は三才になったばかりで大変な事も多々ありました。親の都合で何度も転校をさせてしまった長男は、友達を作るのが大変で、悪戯をする事で人の気を引こうと思つたらしく随分悩まされました。長女は、お父さんの居ない淋しさからお父さん買ってと泣かれたものです。

そんな中、会の皆様に支えられこんな私でも何かの



力になれるならと今日に至っております。今後も会の皆様と支え合い、一人でも多く会に入会して良かったと思つて頂ける活動をして行きたいと思っています。ありがとうございました。

## 県民福祉のつどい 表彰者

第23回栃木県民福祉のつどいにおいて、永年の母子寡婦福祉の功労により次の方が表彰されました。

### 《栃木県知事表彰》

母子家庭等支援功労者

那須塩原市 織田 敏枝  
壬生町 河野邊 福子  
高根沢町 栗橋 幸子  
高根沢町 黒崎 トモ子

### 《栃木県ひとり親家庭福祉連合会長表彰》

母子寡婦福祉関係功労者

那須塩原市 田川 ひろみ

～おめでとうございます～



**会長賞を受賞して**  
那須塩原市 田川 ひろみ

第二十三回栃木県民福祉のつどいの会場にて、県知事、来賓の方々の前で母子寡婦福祉関係功労者として表彰を会長から受け、とても緊張しました。

私がひとり親家庭になったのは黒磯市時代の頃で十八年位前になります。二人の息子を育てて行かなくてはならないとの思いで夢中で働きましたが、息子達には沢山淋しい思いをさせたといつも心を痛めていたことを思い出します。

今は、息子も成人し、昨年私が入院した時、私のことを心配して病氣のことを調べてくれたり、家中を掃除し見違えるほどきれいにしてくれ大変感謝しました。優しい子に育ってくれて有難いです。

私はこれからも那須塩原市の会員のお母さん達の為に手助けが出来るように、頑張ります。益々この会が発展することを願います。

## 地区だより

### 壬生町

田辺 敏江

壬生町ひまわり会に入会してから、早いもので二十年近くなります。六十歳で定年後、ひまわり会の行事に参加できる様になりました。

五月にはいちご狩りに行き、ジャムを作りました。初めてにしては上手にできました。秋には町のバスで一泊研修旅行に行くことを皆さん楽しみにしています。毎年十月に町の福祉まつりが盛大に行われます。昨年は、会員十数名が参加しました。数年前から三角くじを会長の計らいで取り入れたところ大人気でお客様の笑顔が見られて大変嬉しくなります。また、自分達で作った野菜を持ち寄り、調理した物を出店販売します。食中毒などの事故にならない様に衛生面には細心の注意を払っています。

一つの行事を通し、母子寡婦の皆さんの協力を頂きながら交流を深め会の活性化に繋げて行ければ良いと願っています。

平成二十八年八月二十六日、栃木県民福祉のつどいにおいて会長賞を頂きました。日頃より、ひとり親家庭福祉連合会や町の社会福祉協議会、ひまわり会員の皆様が温かく支えてくださいましたお陰と感謝いたしております。ありがとうございました。

母子に関するテーマ

「目指そう！自立、活かそう支援策」

## 学習支援事業を始めて

鹿沼市 齋藤 雅世

二十八年度から始めようと思っていた学習支援。年度初めに計画を立てなかったため、会場がうまく取れず、年度後半になり、漸く母子部会員に返信はがきを入れ学習支援の案内を送る。

結果「二十九年度は初旬より始めます。」の一言を入れてたせいか、寒さに向かっただけの季節が災いしたか、参加希望は一名のみのため断念せざるを得なかった。

こんな状態で二十九年度始められるのだろうかの心配をよそに、二月下旬、下野新聞一面に『ひとり親家庭の子支援へ、学習指導三市町に拡大。すでに始めている那須塩原市新たに鹿沼市、高根沢町でも始める予定』と。

さて、行動開始。

まずは最低五名の参加者の確保には、「母子部の役員二名のお子さん二人と友達誘って何とかなる」と核心。学習支援ボランティアの講師は県ひとり親連合会に、年間の会場予約は母子自立支援員に依頼。(一般の予約は三ヶ月前しか取れないため)学習日は、毎週土曜日、午後六時から八時。送迎は保護者の責任で、

と決めた。また、以前会員からは小学校高学年の希望もあったので、県ひとり親連合会には了解をいただいた。

前回同様会員の皆様に、通知し、はがきを節約、参加者希望は電話連絡にした。

小学生も可能にしたことで、小学生四名、中学生七名(内、兄妹二家族)十一名の参加になりました。

ところが、講師になってくれる方が一名しか見つからず、始まる一週間前、やはり下野新聞に『ひとり親の子に勉強を。支援講師を緊急募集(鹿沼)』の記事が掲載され、無事四名の学習支援ボランティアによる『ぷちとま・かぬま「学び家」』を始めることができました。

参加者は自主学習を持参し熱心に勉強。先生も高校受験に向けてプリントを用意してくれるなど感謝です。

教室へ入ってくる時の笑顔を見ると「学び家」の必要性を痛感し、お世話になった県ひとり親連合会事務局には感謝申し上げると共に、この事業がずっと続けられることを願うのみです。



## 家庭生活支援員養成研修受講生募集

ひとり親家庭の方が、病気や冠婚葬祭、学校行事、就職活動などで、育児に困った時に子育てをサポートする家庭生活支援員養成研修の受講生を募集します。一緒に子育てのサポートをしませんか？

## ▶土曜日コース

1月20日

2月3日・17日・24日

## ▶日曜日コース

1月21日・28日

2月4日・18日

※上記の他、保育施設での見学実習があります。

- 内容** 子育て支援に関する講義
- 対象** 5日間の講習をすべて受講できる方。家庭生活支援員として登録し、子育て支援に従事できる方
- 場所** とちぎ男女共同参画センター(パルティ)及び居住地区の保育施設
- 受講料** 無料
- 託児** あり(予約制)
- 申込締切** 12月20日(水)
- お問い合わせは** 栃木県ひとり親家庭福祉連合会  
☎028-665-7801, 7806



## ひとり親家庭サポーターのつどい

## 「育てよう 自立！」

をテーマに開催します。

- 日時** 10月29日(日)  
12時30分～(受付開始 11時40分～)
- 場所** パルティとちぎ男女共同参画センター ホール
- 内容** 講演「親子それぞれの旅立ち」  
NPO法人栃木県カウンセリング協会  
理事長 丸山 隆氏

**参加費** 無料 どなたでも参加できます。  
ひとり親家庭のお父さん・お母さん  
ひとり親家庭に理解のある方など

**託児** あり(事前にご連絡ください)

## 参加申込み・お問い合わせ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会  
☎028-665-7801, 7806

## 編集後記

暑かった日々も過ぎ心地よい季節となりました。県民福祉のつどいで表彰を受けられました皆様おめでとうございます。これからも、会の発展のためにご尽力頂けたら幸いです。また今回の白梅の発行にあたりご協力くださいました皆様、大変ありがとうございました。

## 〈広報部会〉

田口・齋藤・荒木・高田  
山口・木村・小葉・三田  
織田・福田

「白梅」は、赤い羽根共同募金  
配分金により発行しています。

関東ブロック  
研修大会

平成29年9月24日(日)から  
25日(月)に新潟県長岡市に  
おいて開催されました。